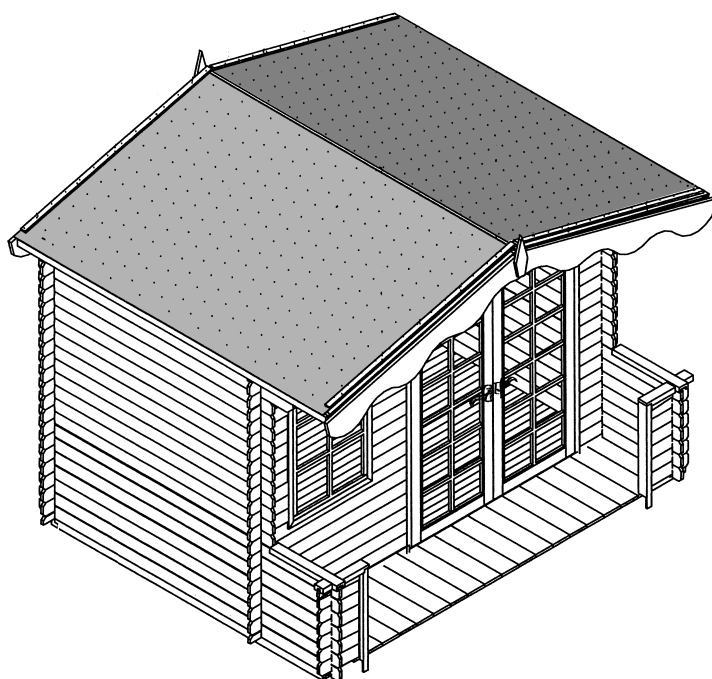


『NEW RETREAT 3226』

—ASSEMBLY MANUAL— (組立説明書)



この度はニューリトリートをお買い上げ下さいまして、誠にありがとうございます。どうぞ末長くご愛用いただきますよう、お願い申し上げます。

なお、このハウスの組立、ご使用にあたってのご注意についての本説明書は必ずお読み下さい。

安全確保のために設置場所及び転倒防止には充分御注意下さい。

日本総輸入元

JB ジャービス商事株式会社

宇都宮市西川田本町3-24-17

TEL : 028-615-2666

FAX : 028-615-2662

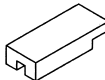
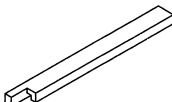
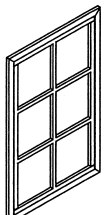
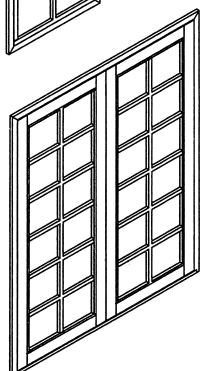
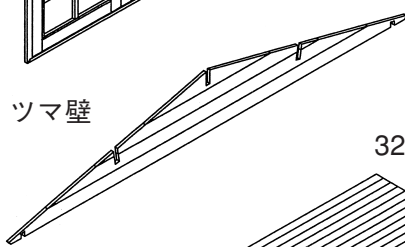
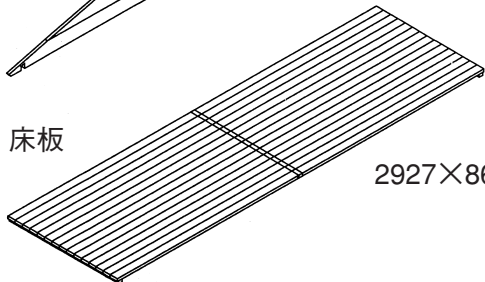
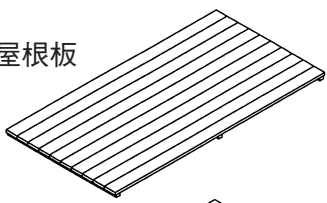
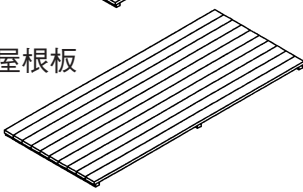
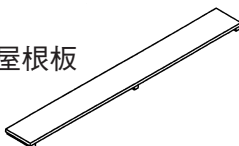
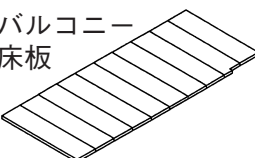
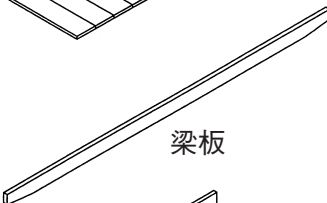
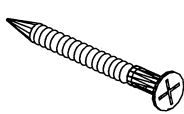
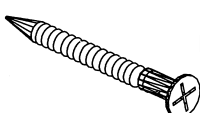
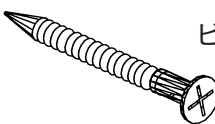
—ご準備していただく工具類—

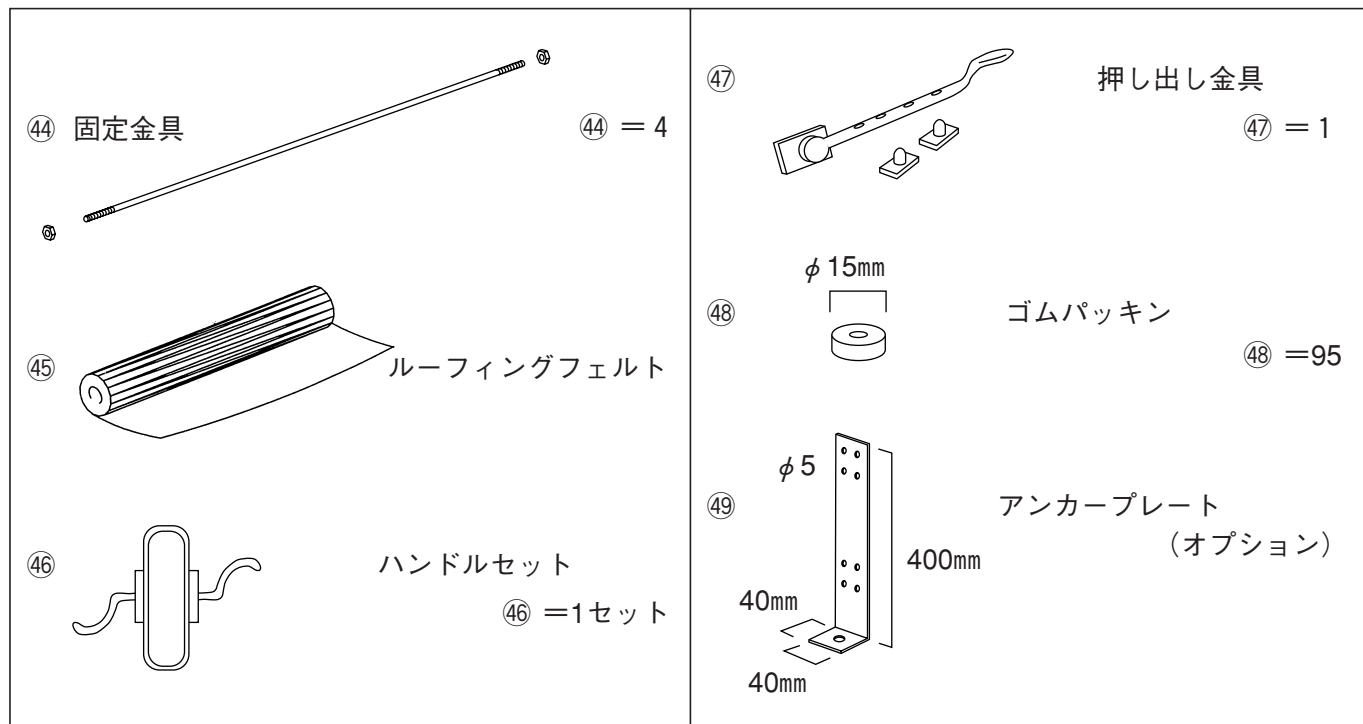
- ・ハンマー
- ・ノコギリ
- ・水平器
- ・スコップ
- ・+ドライバー

- ・インパクトドライバー
- ・カッター
- ・スケール
- ・ノミ
- ・基礎用1/2ブロック、又はレンガ

—部材リスト—

① 土台 ① = 1 3000×60×60mm ② 土台 ② = 1 2940×60×60mm ③ 土台 ③ = 1 3000×60×60mm ④ 土台 ④ = 2 2340×60×60mm ⑤ 土台 ⑤ = 4 1740×60×60mm ⑥ ログ板 ⑥ = 1 1389×60×34mm ⑦ ログ板 ⑦ = 1 348.5×60×34mm ⑧ ログ板 ⑧ = 2 300×60×34mm ⑨ ログ板 ⑨ = 10 348.5×110×34mm	⑩ ログ板 ⑩ = 28 348.5×110×34mm ⑪ ログ板 ⑪ = 12 300×110×34mm ⑫ ログ板 ⑫ = 2 300×60×34mm ⑬ ログ板 ⑬ = 1 3200×60×34mm ⑭ ログ板 ⑭ = 7 1389×110×34mm ⑮ ログ板 ⑮ = 1 3200×110×34mm ⑯ ログ板 ⑯ = 22 3200×110×34mm ⑰ ログ板 ⑰ = 22 2000×110×34mm ⑱ ログ板 ⑱ = 14 2600×110×34mm ⑲ ログ板 ⑲ = 2 2200×110×34mm ⑳ ログ板 ㉑ = 2 2400×110×34mm ㉑ ログ板 ㉒ = 2 2600×110×34mm
---	---

②②		笠木	②② = 2 80×75×40mm
②③		笠木	②③ = 2 167×75×40mm
②④		タテ枠	②④ = 2 770×75×40mm
②⑤		笠木	②⑤ = 2 580×75×40mm
②⑥		窓	②⑥ = 1 1550×730mm
②⑦		ドア	②⑦ = 1 1550×1820mm
②⑧		ツマ壁	②⑧ = 2 3200×425×34mm
②⑨		床板	②⑨ = 2 2927×863×20mm
③①		屋根板	③① = 4 1780×882×60mm
③②		屋根板	③② = 2 1780×716×60mm
③③		屋根板	③③ = 2 1780×116×60mm
③④		バルコニー 床板	③④ = 2 1463×600×50mm
③⑤		梁板	③⑤ = 3 2600×140×34mm
③⑥		破風板 (前後)	③⑥ = 4 1900×190×25mm
③⑦		破風板 (左右)	③⑦ = 2 2600×60×20mm
③⑧		棟飾り	③⑧ = 2
③⑨		屋根押え	③⑨ = 4
④①		ビス	④① = 99 3×25mm
④②		ビス	④② = 50 4×35mm
④③		ビス	④③ = 28 4×40mm
④④		ビス	④④ = 24 4×45mm
④⑤		ビス	④⑤ = 28 4×50mm

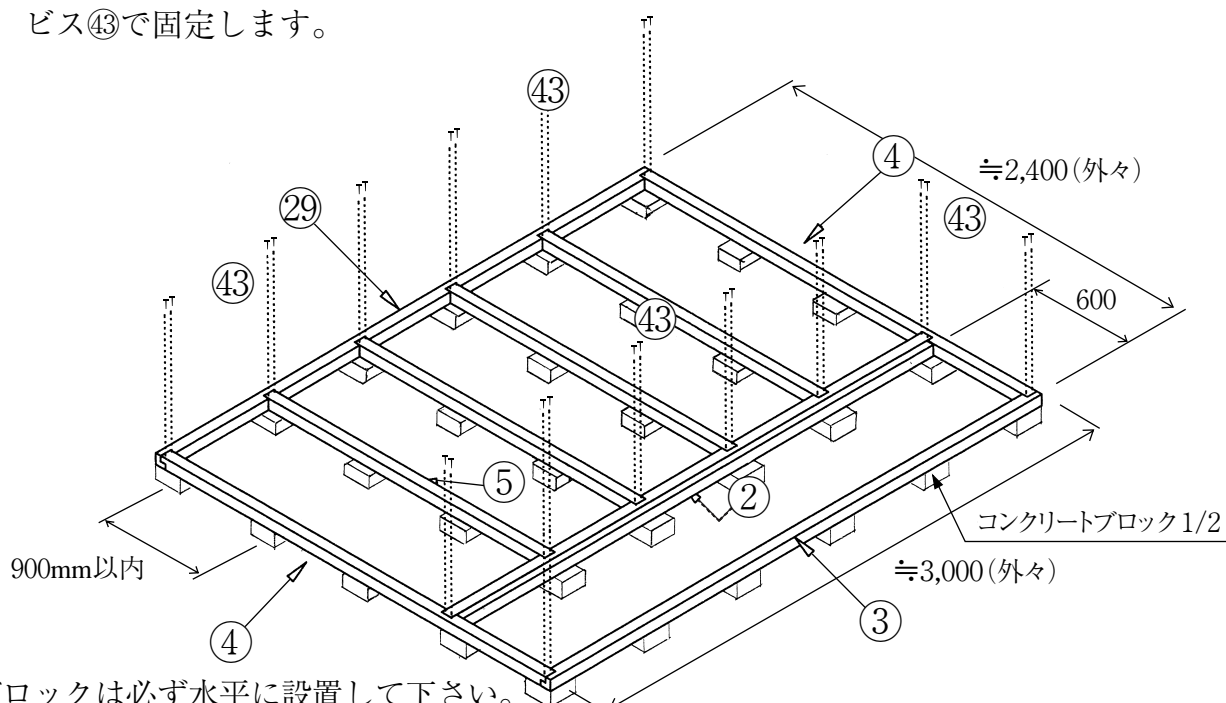


—組立順序のご説明—

- 安全確保の為、転倒防止工事には充分ご注意ください。
- この機種は、転倒風圧が大きいので特に注意が必要です。
- ビス止めを必要とする部材にはすべて仮穴をあけて下さい。

1

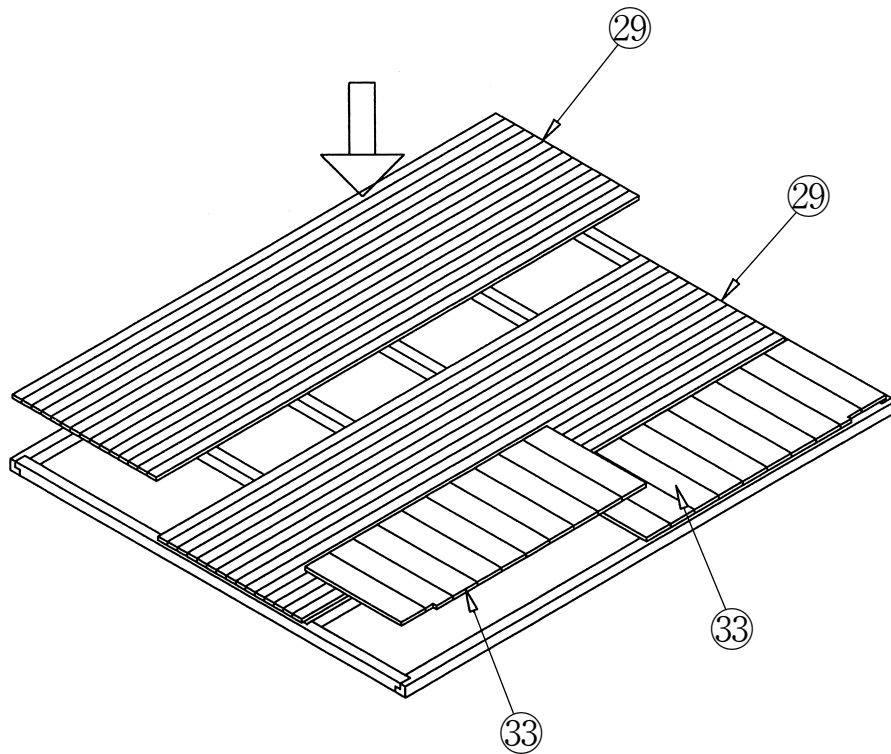
コンクリートブロック1/2を、土台の下に入るように配置し、水平に設置します。土台①～⑤を図のように並べ、対角の長さをそろえて、四隅を直角にしてビス④③で固定します。



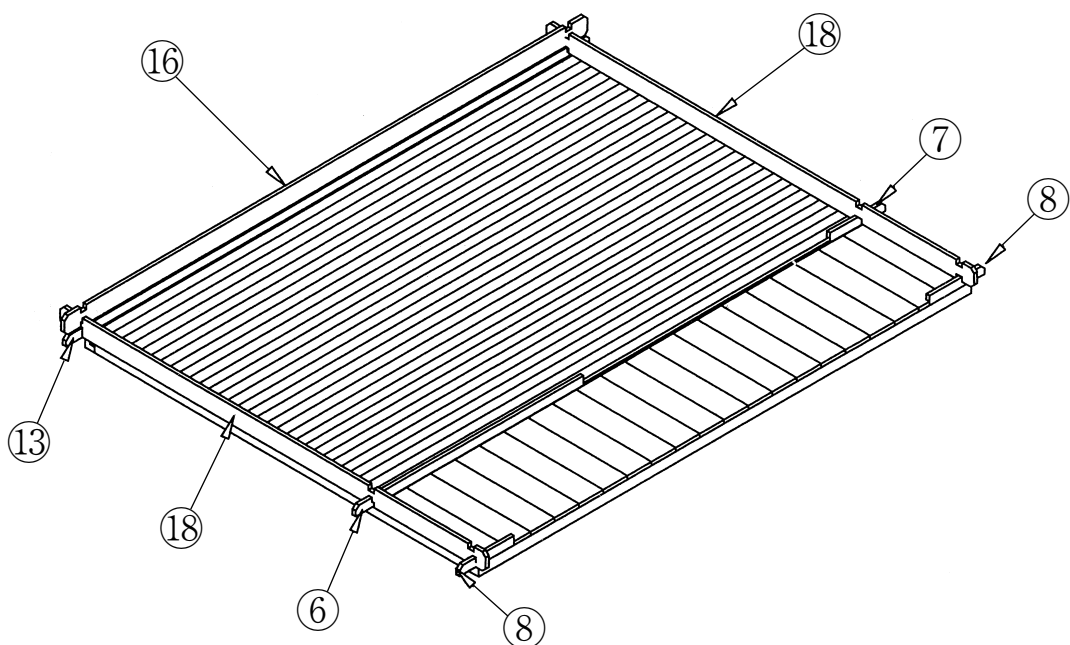
- 注：ブロックは必ず水平に設置して下さい。
 水平でない場合、ドアの開閉等において不具合が発生する恐れがあります。
- 注：ブロックの数はタイプによって異なります。
- 注：ブロックの間隔は900mm以内に配置して下さい。

2

床板②⑨、③③を図のように敷きます。

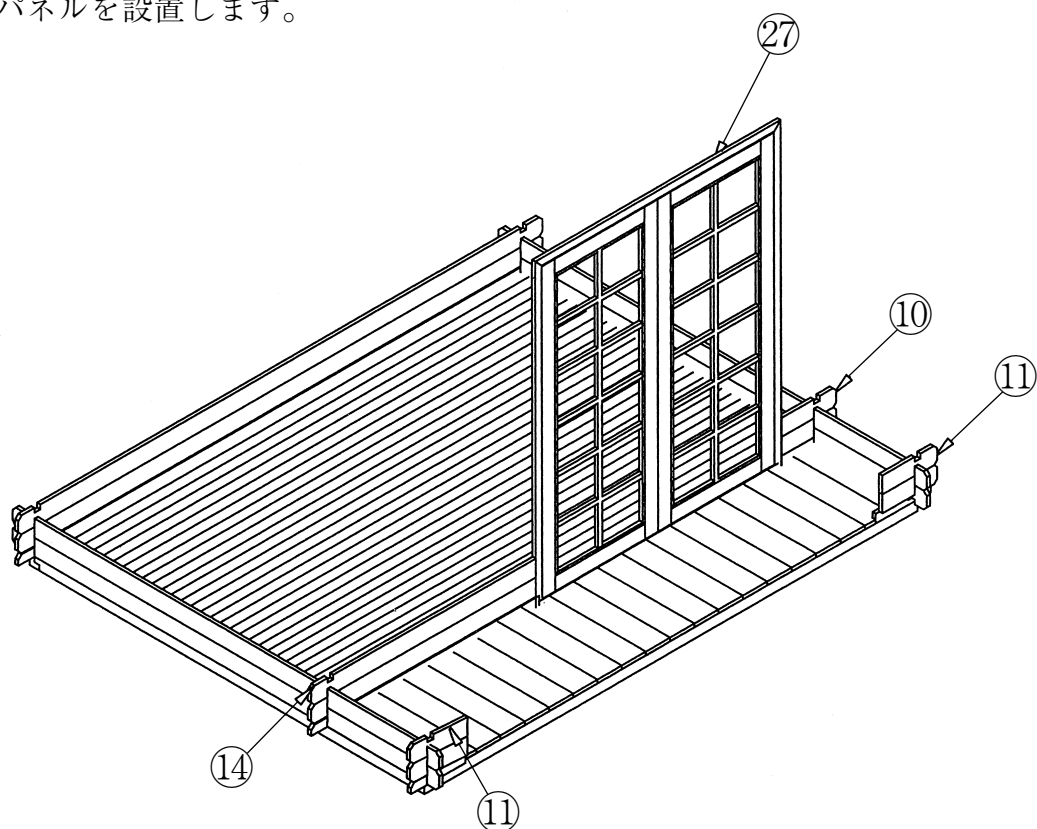
**3**

ログ板⑥、⑦、⑧、⑬、⑱、⑰を図のように配置します。



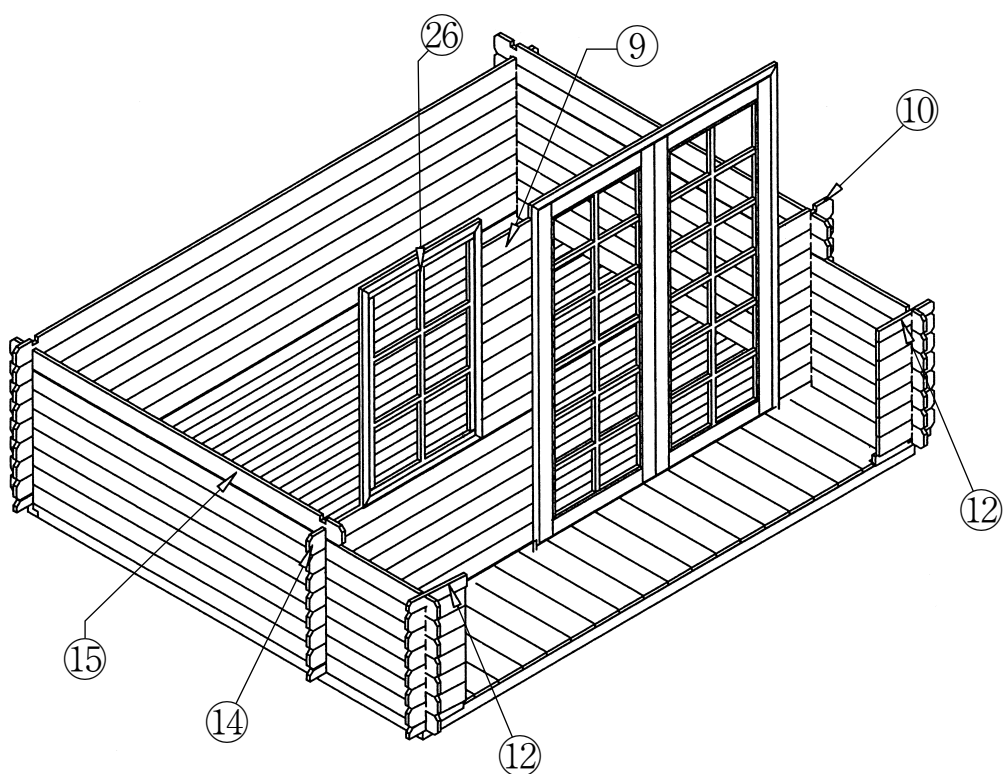
4

ドアパネルを設置します。



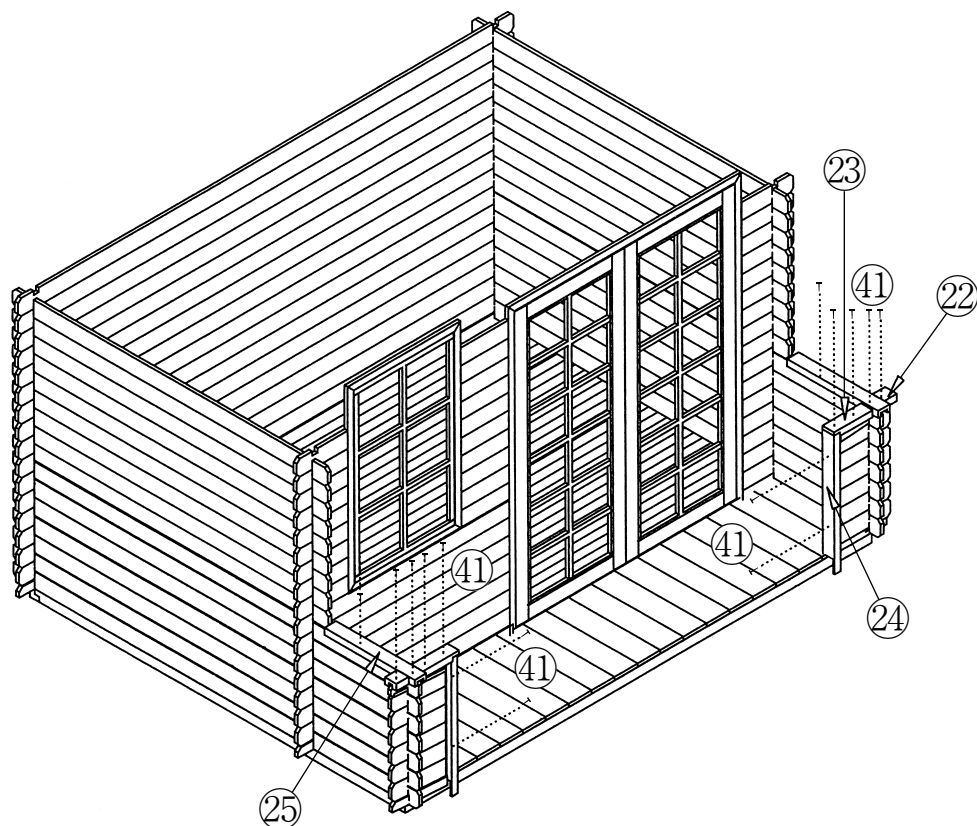
5

ログ板を交互に積み重ねていきながら窓パネルを設置します。



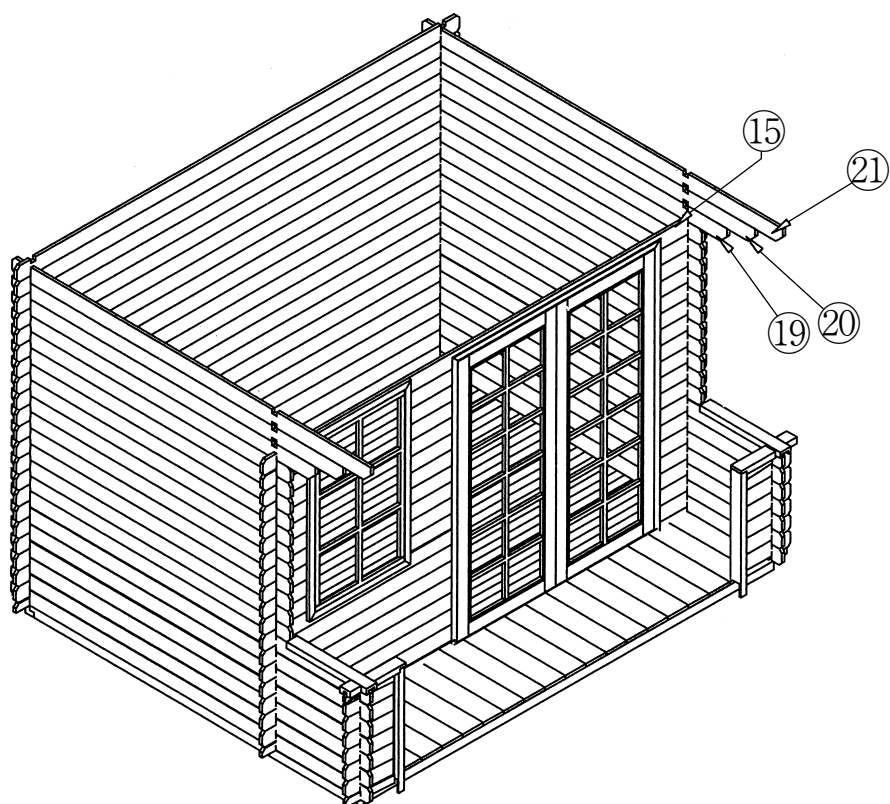
6

バルコニー部分の笠木とタテ杵を設置し、ビス④①で固定します。



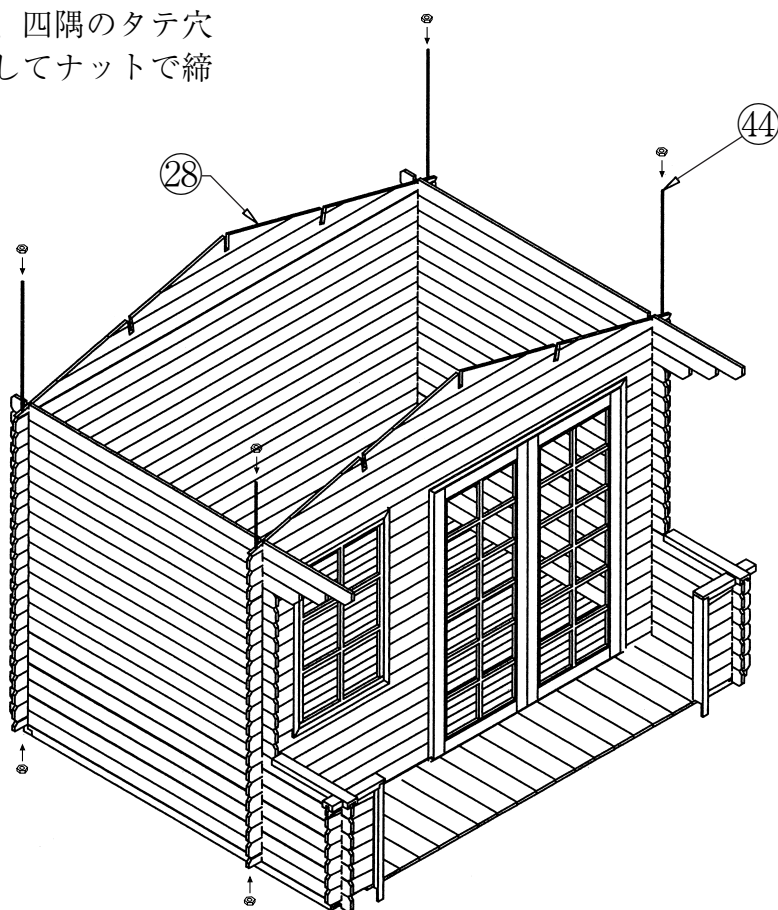
7

ログ板を図のように組み上げます。



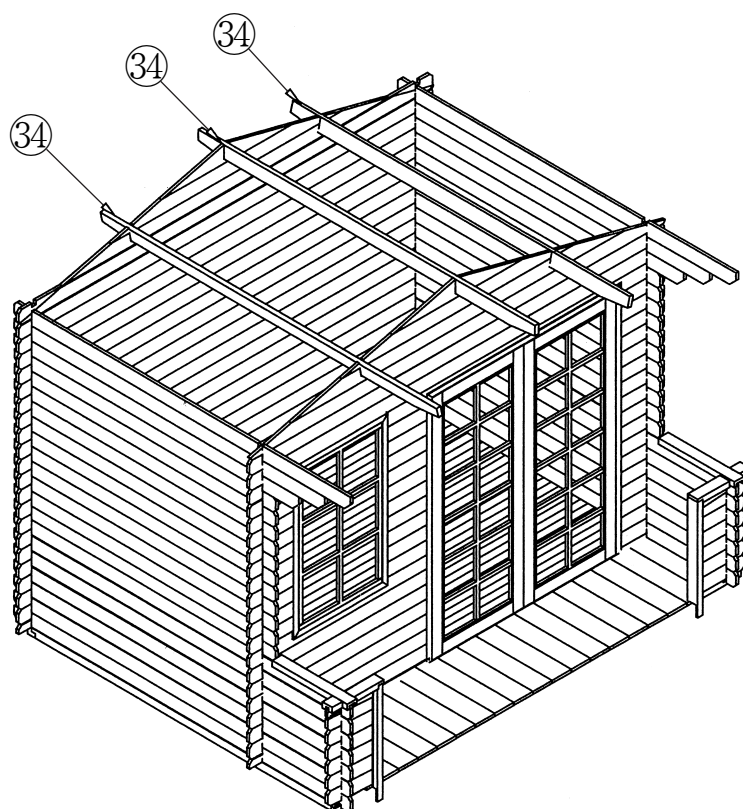
8

ツマ壁②⑧を設置し、四隅のタテ穴に固定金具④④を通してナットで締め付けます。



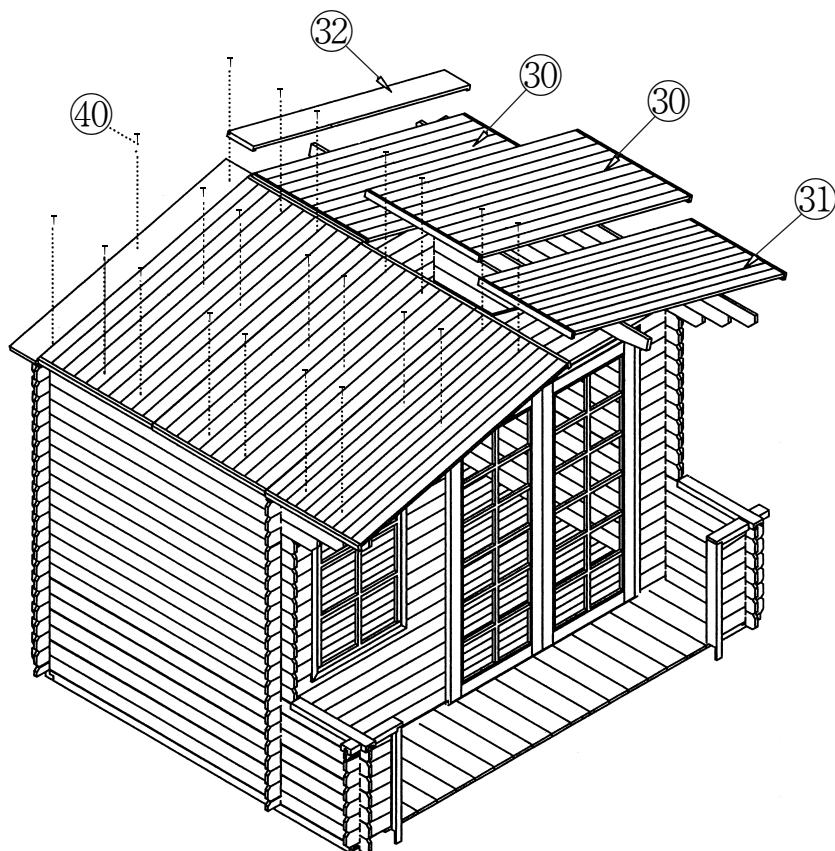
9

梁板③④を設置します。

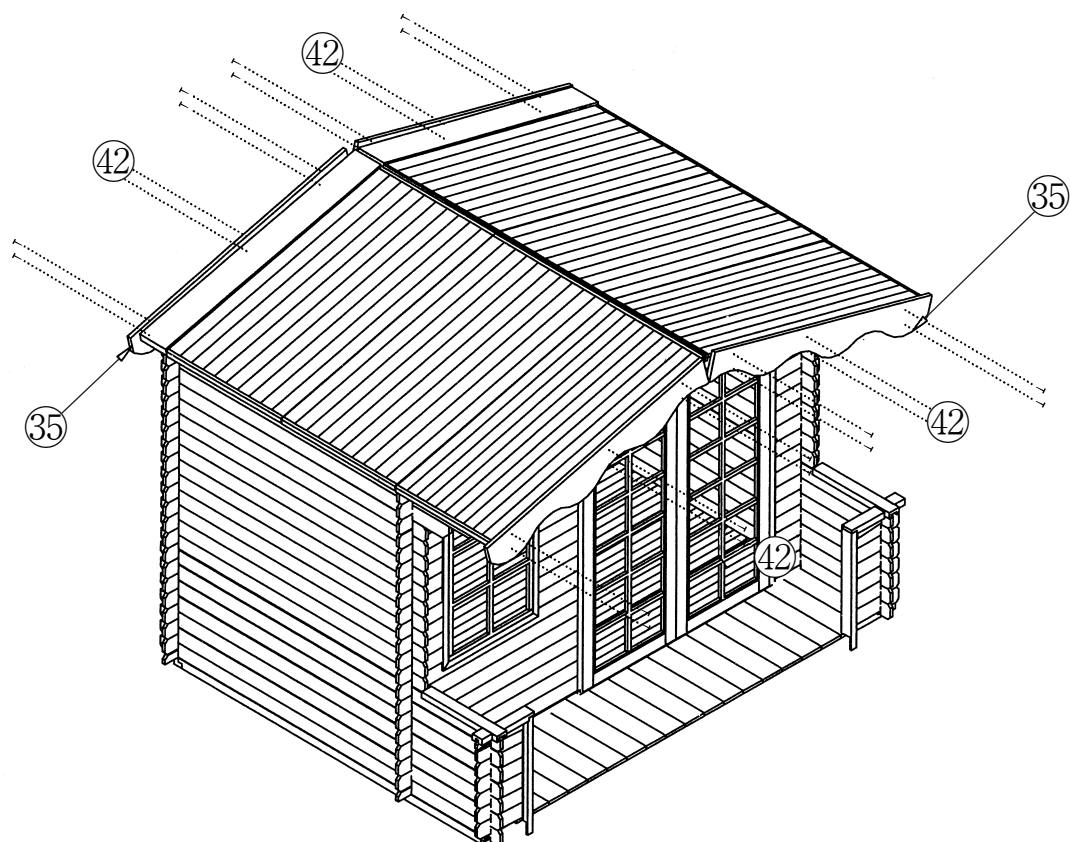


10

屋根板③①、③②を図のように設置し、ビス④①で固定します。

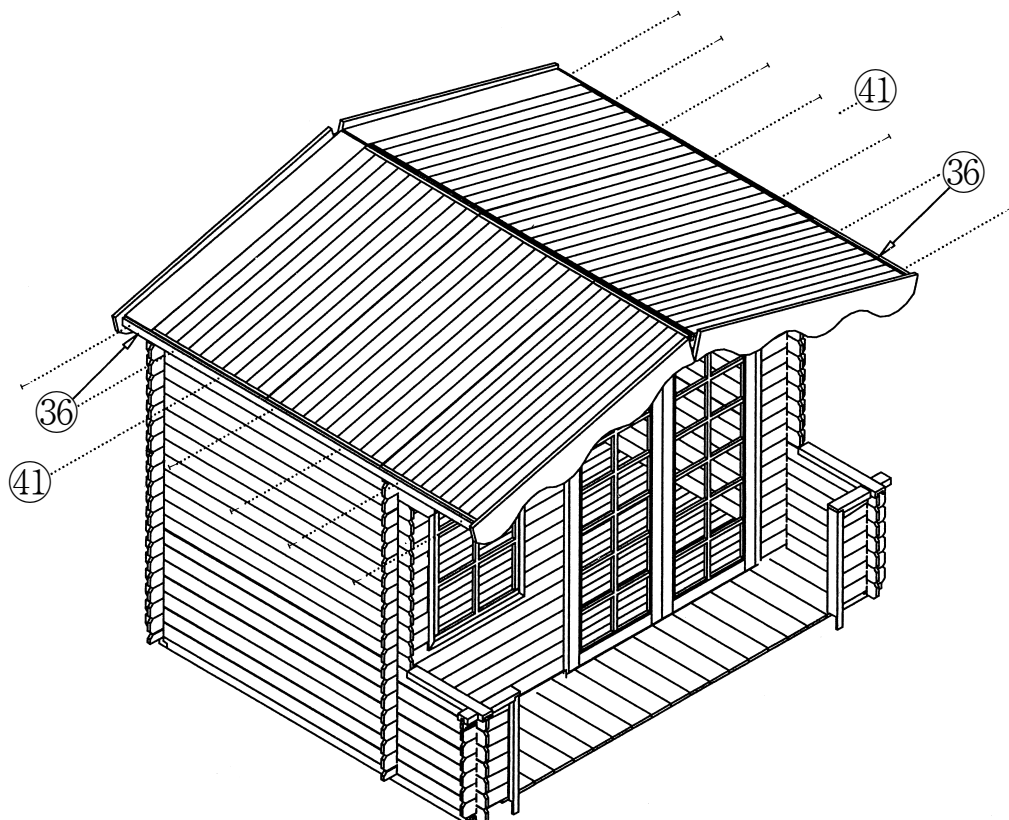
**11**

破風板③⑤をビス④②で打ち付けます。



12

破風板③⑥をビス④①で打ち付けます。

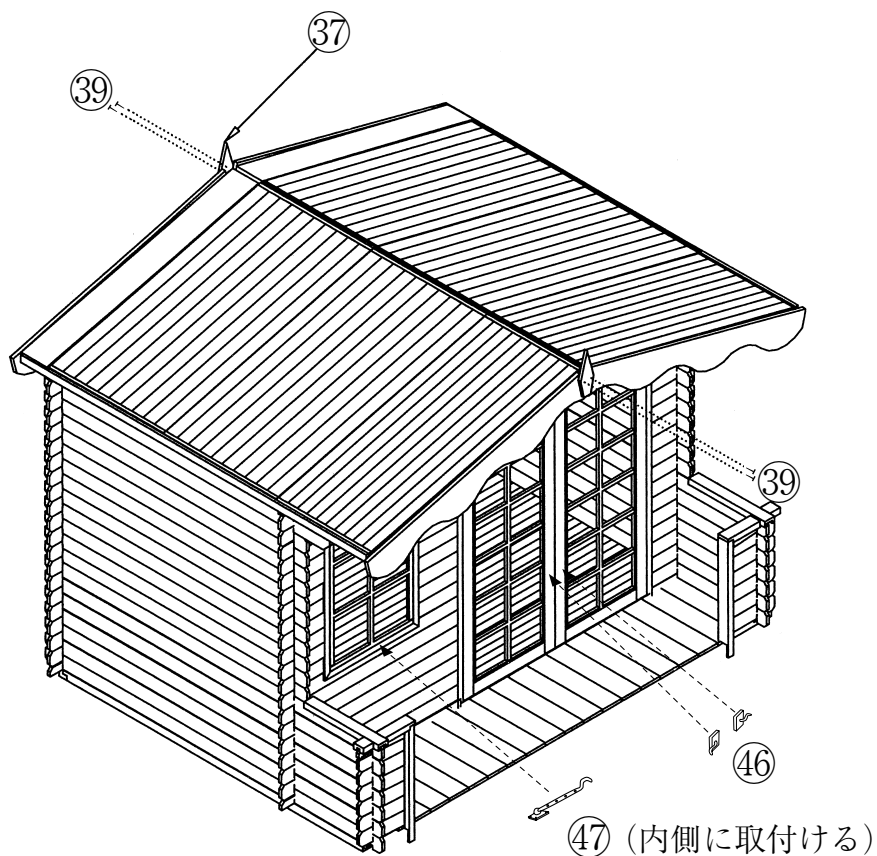


13

棟飾り③⑦をビス③⑨で打ち付けます。

レバーハンドル④⑥をドアに取り付けます。
押し出し金具④⑦を窓に取り付けます。
(カタログの写真を参考にして下さい)

注：錠前の取付時には
欠き込み等調整が
必要な場合があります。

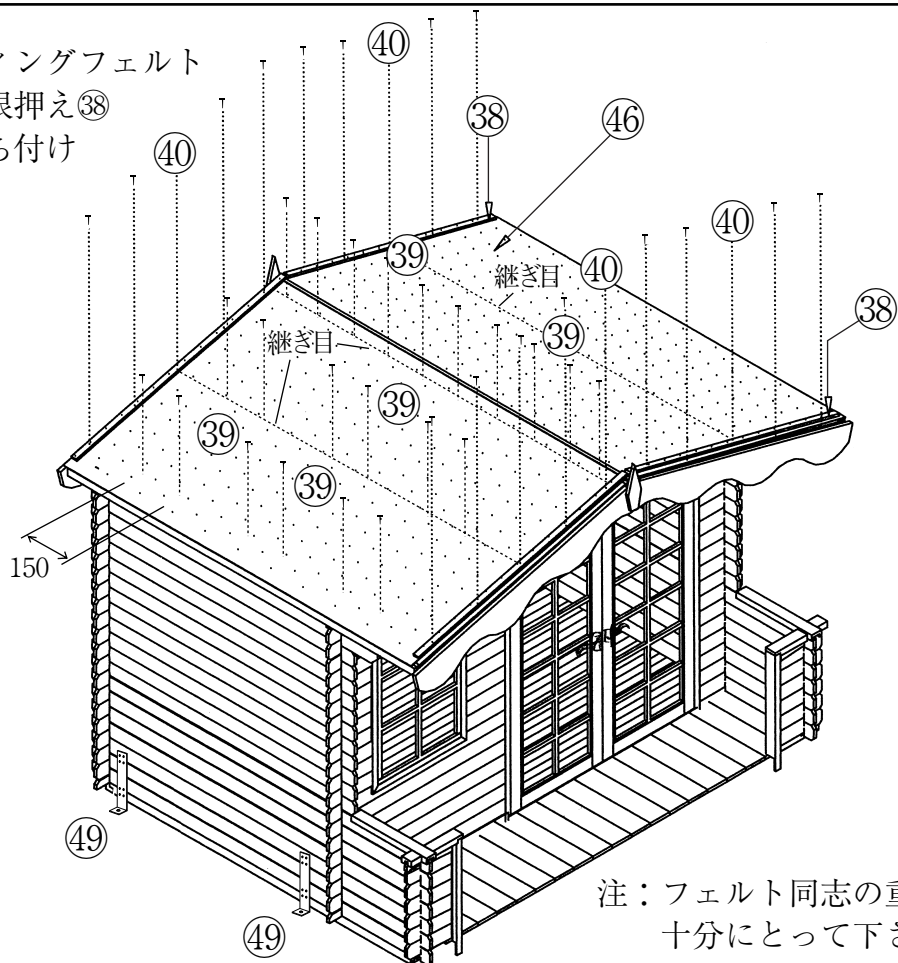


14

屋根にルーフィングフェルト④⑤を敷き、屋根押え③⑧をビス④⑩で打ち付けます。

ルーフィングフェルトの外周と重ね部分に、ゴムパッキン④⑧とビス③⑨を150ピッチで打ちつけます。

建物を地盤面に固定するため、四隅にアンカープレート④⑨を打ち付けます。
(詳細は図15をご覧ください)



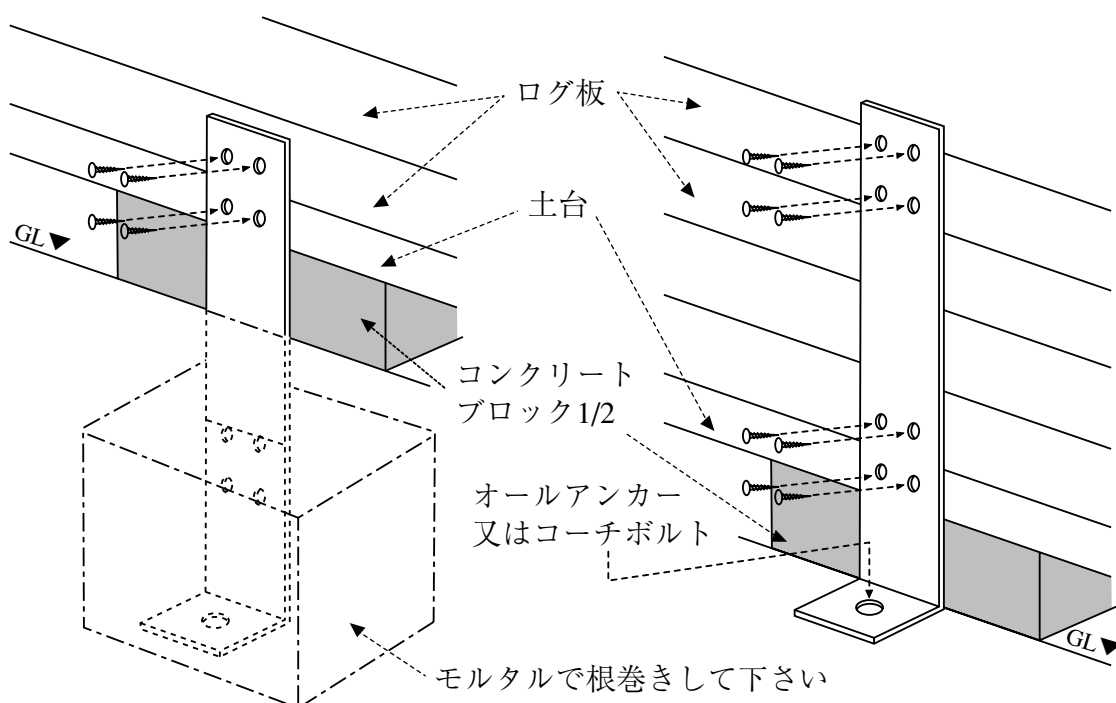
注：フェルト同志の重ねは十分にとって下さい。

15

アンカープレートの施工 (オプション)

〔アンカープレートを地中に埋め込む場合〕

〔アンカープレートを地中に埋め込まない場合〕



※各コーナーにつき1ヶ所使用して下さい。

—そ の 他—

- ・オプションとして
 - ・ブロック（1／2ブロック、又は基本ブロック）
 - ・アンカープレート工事 ・雨どい工事
 - ・窓追加工事
 - ・屋根材の変更工事（U瓦、及びコロニアルタイプ）等のグレードアップパーツが取りそろえております。
- ・安全のため、アンカー工事をするをお勧めします。
- ・価格については別紙カタログをご覧ください。

—ご使用にあたってのご注意—

1. このハウスは床面積が少ないため、転倒または吹き飛ばされる事があります。転倒防止工事をお願いします。
2. 材質は中国桧ですので、耐水性に優れています。
長持ちさせるため、又は変色を防ぐために、定期的に塗装することをおすすめします。
3. 木製商品のため、長い間にはソリ、ネジレ、ヒビ等が発生するおそれがありますので、ご了承ください。
4. さらに長持ちさせるために、年1回のお手入れをお勧めします。

※特に風当たりの強い場所に設置する場合は、転倒防止に充分ご注意下さい。